

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392500316
事業所名	グループホーム笑顔の泉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	コロナ禍の制限はあるものの、管理者は地域の認知症対応型共同生活介護事業所の有志が集う会への出席に努め、役割を果たそうとしています。またフリージアなど眺めて気持ちが弾む愛らしい花を玄関先に植えていて、散歩途中の小さなお子さんがお母さんとしゃがんで匂いをかいて語らう姿もみられ、地域の人と共に在るということも実践しています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	ユニットリーダーと管理者とでリーダー会議をおこなう折に2ヶ月分の運営状況を集約、そのうえで管理者が介護支援専門員と確認しあって議事録としてまとめ、書面開催として運営推進会議を継続させています。区長、地域包括支援センターに届ける書面には「意見をください」と投げかけてはいますが、声を集めるには及んでいません。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	コロナ禍前までは参会でできていたので、2ヶ月に1度会える運営推進会議では地域包括支援センターとも馴染みとなり、コロナ禍の対応情報の他にも入居者の照会もあり、運営を助けてもらっています。コロナのことがあって市の窓口にはなかなか出向けないものの、メール配信は都度確認して情報共有に努めています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	平均介護度は2.4で、利用者は発語が明瞭な人も多いため、職員は声がけを含みコミュニケーションを以て意向把握を励行しています。面会は思うようにいかない面もありますが、家族から手紙が届いたり、LINEでつながっている人は11名となり、家族とのツーウェイコミュニケーションの仕組みが進んでいます。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○								